

### 令和7年度 学校経営計画

<p>学校教育目標</p>	<p>志をもち、主体的に挑戦し、未来を切り拓く生徒の育成 ～夢・挑戦・協働三中～</p>	
<p>学 校 像</p>	<p>子 ども 像</p>	<p>教 師 像</p>
<p>○生徒・保護者・地域から信頼される学校 ○安心・安全で笑顔あふれる学校 ○自己の能力を最大限に伸ばせる学校</p>	<p>○志をもち、夢に向かって全力で粘り強く努力する生徒 ○自信と誇りをもち、主体的に行動する生徒 ○豊かな心をもち、新たなことにチャレンジする生徒</p>	<p>○教育愛を持ち、一人ひとりの生徒の育ちを支える教師 ○常に研鑽に励み、新たなことに積極的に取り組む教師 ○同僚意識を高く持ち、組織的対応に貢献できる教師</p>
<p>校長の経営方針</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 特別支援教育の考え方をふまえ、全ての生徒が主体的・協働的に教育活動に参加できる教育環境づくりの推進。</li> <li>2 生徒の人権意識を高め、お互いに尊重し合い、自己の能力を最大限に伸ばせる安全・安心な教育環境づくりの推進</li> <li>3 個別最適な学び・協働的な学びを実現する授業実践</li> <li>4 特別支援教育に関する教師自身の知識・技能を高める校内研修の推進</li> <li>5 生徒が主体的に企画・運営し感動体験を味わう教育活動の推進</li> <li>6 「ほめるから、はじめる。はじまる。」を基盤にした自己有用感を育む生徒指導の充実</li> </ol>	
<p><b>教育目標達成のための重点取り組み</b></p>		
<p>項 目</p>	<p>重点取組内容</p>	<p>本年度の具体的な取組</p>
<p>①学力の向上 (ICT活用教育を含む)</p>	<p>○評価基準を生徒と共有し、生徒が主体となって取り組む授業の推進 ○家庭学習の充実 ○一人一台タブレットの活用</p>	<p>○授業開始時に「めあて」「評価基準」を板書し、生徒が基準達成に向かって主体的に学習できる授業の実践。 ○家庭学習ノート（かけはしノート）の効果的活用（意欲喚起の工夫） ○朝の会でのタブレット起動。教科書掲示のQRコード活用。</p>
<p>②心の教育 (いじめ防止を含む)</p>	<p>○あいさつで心が通い合う学校づくり ○規範意識の向上 ○自己有用感を高める教師の声かけ ○人権意識を高める取組の充実 ○「いじめ未発見〇」の取り組み</p>	<p>○登下校時あいさつ、校内あいさつの活性化（生徒会活動、生徒指導部） ○場に応じた言動の周知徹底。情報モラルの知識・理解の向上 ○「ほめるから、はじめる。はじまる。」の共通実践 ○各教科、各行事など年間を通した人権学習の計画改善及び実践 ○気軽に相談できる信頼関係づくり ○多様な相談体制の確立</p>

<p>③健康・体づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の体力や健康についての関心を高める</li> <li>○不登校に係る教室復帰支援</li> <li>○食育の推進</li> <li>○健康・安全に関する資質・能力の向上</li> <li>○部活動の適正な運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツテスト結果の理解及び将来の健康に向けての考察</li> <li>○レインボールームの効果的活用</li> <li>○給食内容の紹介及び残食減少</li> <li>○交通安全教室、薬物・防犯・情報モラル教室の開催。</li> <li>○平日2時間以内の活動時間の徹底</li> </ul>
<p>④業務改善・教職員の働き方改革の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員自身の意識改革</li> <li>○新校時による時間外勤務削減（教職員休憩時間の分割）</li> <li>○行事内容及び規模の適正化</li> <li>○職員会議の効率化</li> <li>○健康管理体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○部活終了後1時間以内での退勤促進</li> <li>○帰りの会終了時刻の25分繰り上げ</li> <li>○「部活動に係る活動方針」に沿った平日2時間以内の徹底</li> <li>○体育大会（5月）、修学旅行（9月）実施</li> <li>○「連絡事項の確認」との位置づけ</li> <li>○健康診断後の再検査の徹底</li> </ul>
<p>⑤特別支援教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全ての生徒が意欲をもって参加できる授業実践（特別支援教育の考え方を踏まえて）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○R6研修の成果をふまえた授業実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員統一実践</li> <li>・各教科独自の統一実践</li> </ul> </li> <li>○個別最適な学び・協働的な学びを実現する授業実践</li> </ul>
<p>⑥学校独自の項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒会、実行委員会を中核とした生徒主体による学校づくり</li> <li>○人権講話会</li> <li>○志を語る会の開催</li> <li>○輝く部活動づくり</li> <li>○ボランティア活動の推進</li> <li>○ユニバーサルデザインを意識した環境づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育大会、文化発表会の企画・運営</li> <li>○学校の約束（校則）の検討</li> <li>○毎月1回、教職員（輪番制）による人権講話</li> <li>○校長との会食による「志を語る会」の実施</li> <li>○あいさつ、返事、礼儀、感謝の心、仲間との信頼等、部活動で培われる人間性を育む</li> <li>○地域人材活用による、専門性の高い技術面・精神面の指導</li> <li>○地域貢献に寄与するボランティア活動の企画・実践</li> <li>○社会的問題の解決に寄与するボランティアへの参加</li> <li>○研究成果を小城市学力向上授業研究会で発表（11月）</li> </ul>